

**cervélo**

P5X マニュアル

## 目次

はじめに	1 フレームの特徴
徴	2 小さな部品
品	3 フレーム収納ケース
ス	4 エアロ/バーコンポーネントの概要
要	5 フォークの取り付け
け	7
ブレーキハウジングの取り付け	8 ベースバーの配線
け	10 ベースバーの取り付け
リ	11 ライザーアセンブリ
ト	12 エクステンションとパッドマウント
け	13 アームカップとパッドの取り付け
ン	14 マルチペンドエクステンション
け	15 エアロ/バーアセンブリの取り付け
線	16 電気ケーブルの配線
け	17 ステムカバーの取り付け
	19
メカニカルケーブル配線	21 Smartpak の取り付け
け	23 Speedcase の取り付け
け	25 内部配線ガイドの取り付け
シートポストの組み立て	26 Stealthbox の取り付け
断	28 シートポストの切断
け	30 スルーアクスルホイールの取り付け
書	31 付録: P5X フォーク取扱説明書
	33

## 導入

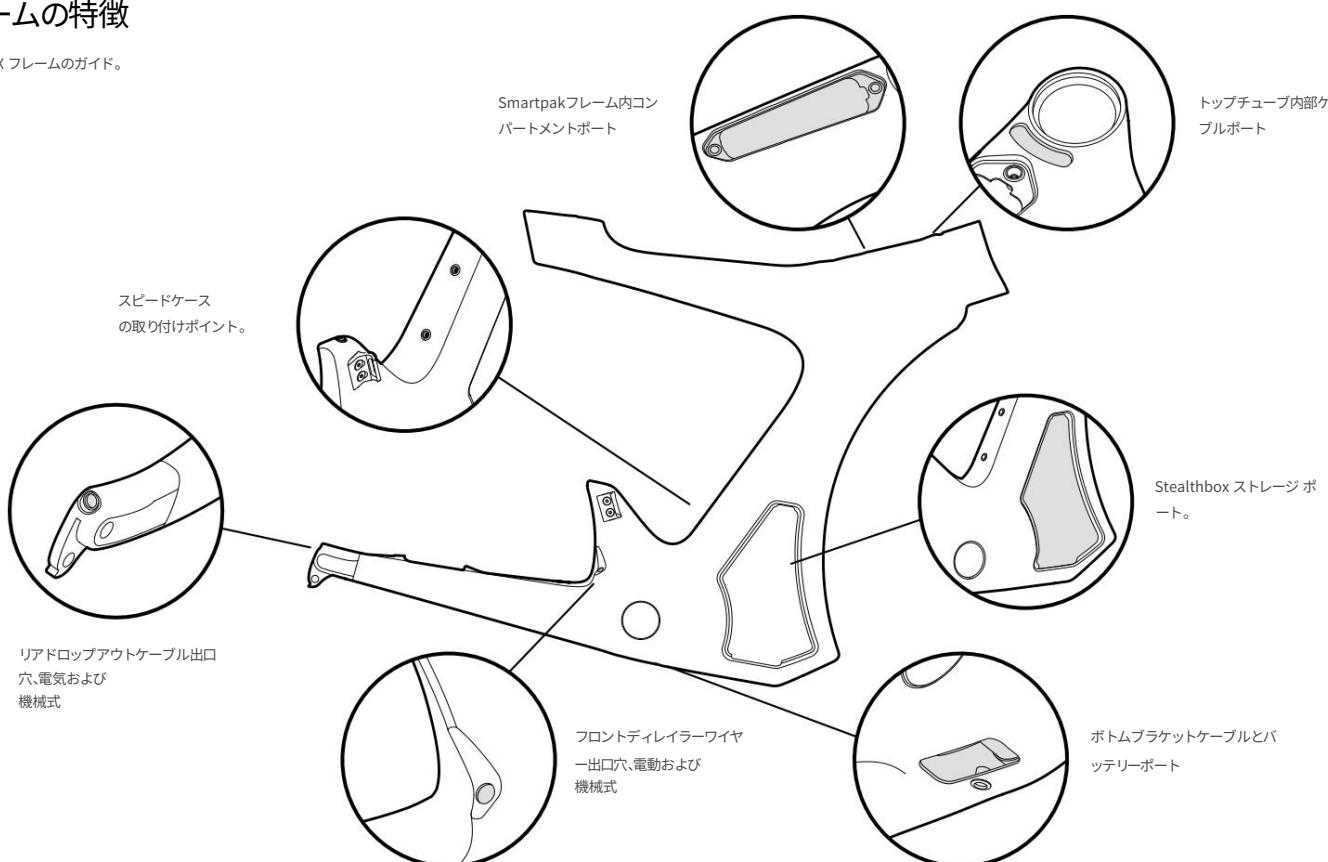
3年間にわたる徹底的な研究を経て、史上最も先進的なトライアスロンバイクが誕生しました。P5Xは、あなたを勝利へと導くだけでなく、メンテナンス、栄養補給、トレーニングなど、あらゆるニーズをシームレスにサポートするよう設計されています。Cervéloは、Cervélo販売店による自転車の組み立てを強く推奨しておりますが、この自転車には独自のコンポーネントが含まれており、走行時には分解手順を理解する必要があるため、この組み立てガイドをよくお読みください。

Cervélo P5Xをご購入いただきありがとうございます。Cervélo P5Xで楽しいひとときをお過ごしいただければ幸いです。

この説明書はP5X独自の機能の組み立て手順をご案内するために作成されましたがあくまでも部品メーカーが提供する組み立て説明書の補足としてのみご使用ください。完成した自転車と一緒に、この説明書をお客様にお渡しください。

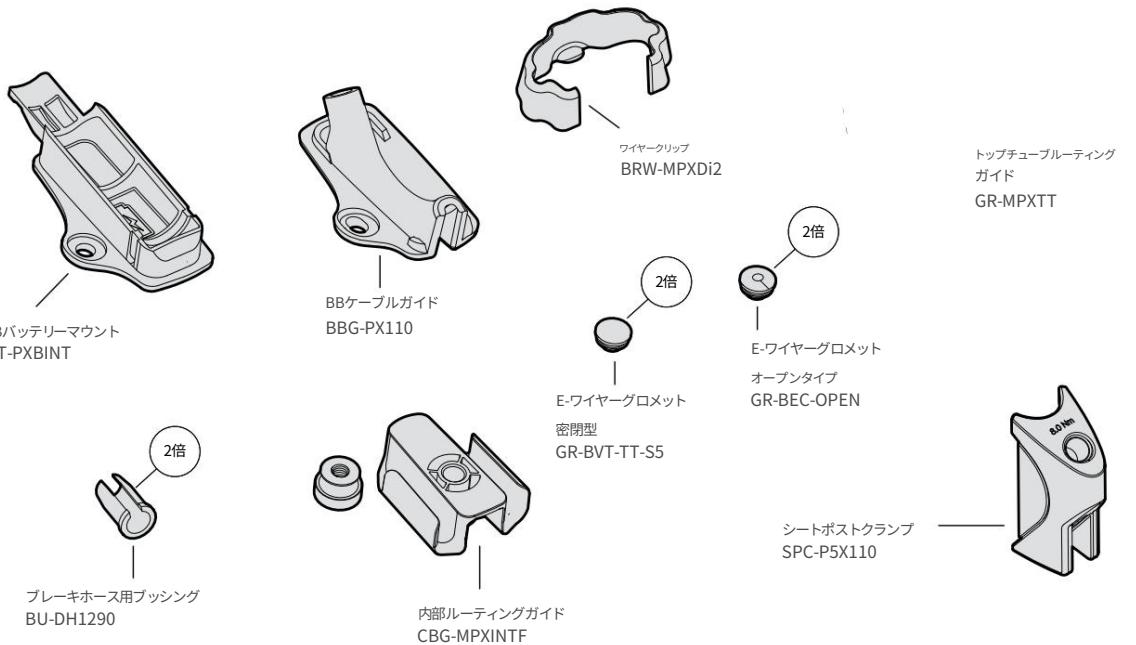
## フレームの特徴

Cervélo P5X フレームのガイド。

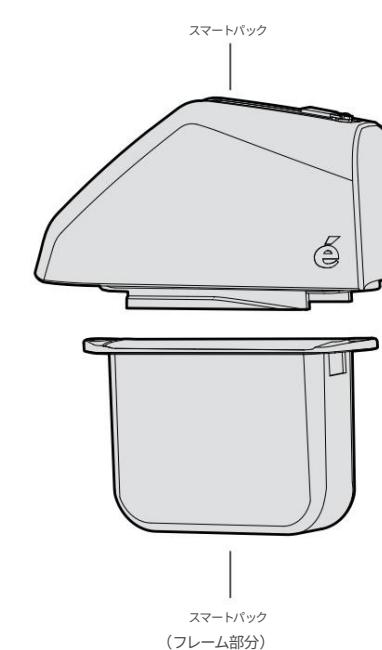
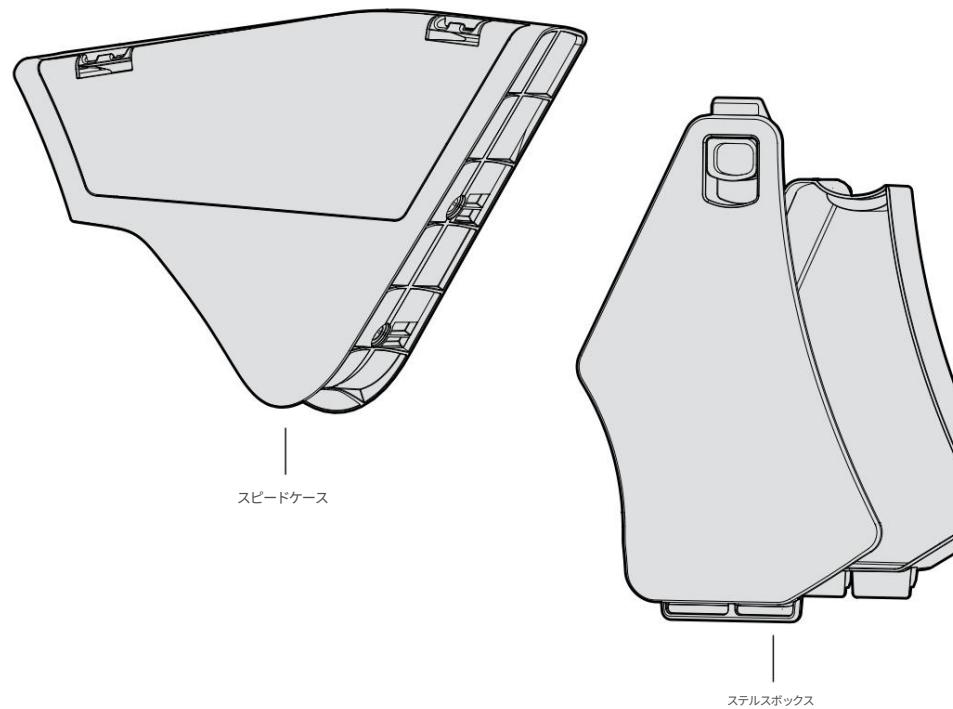


## 小さな部品

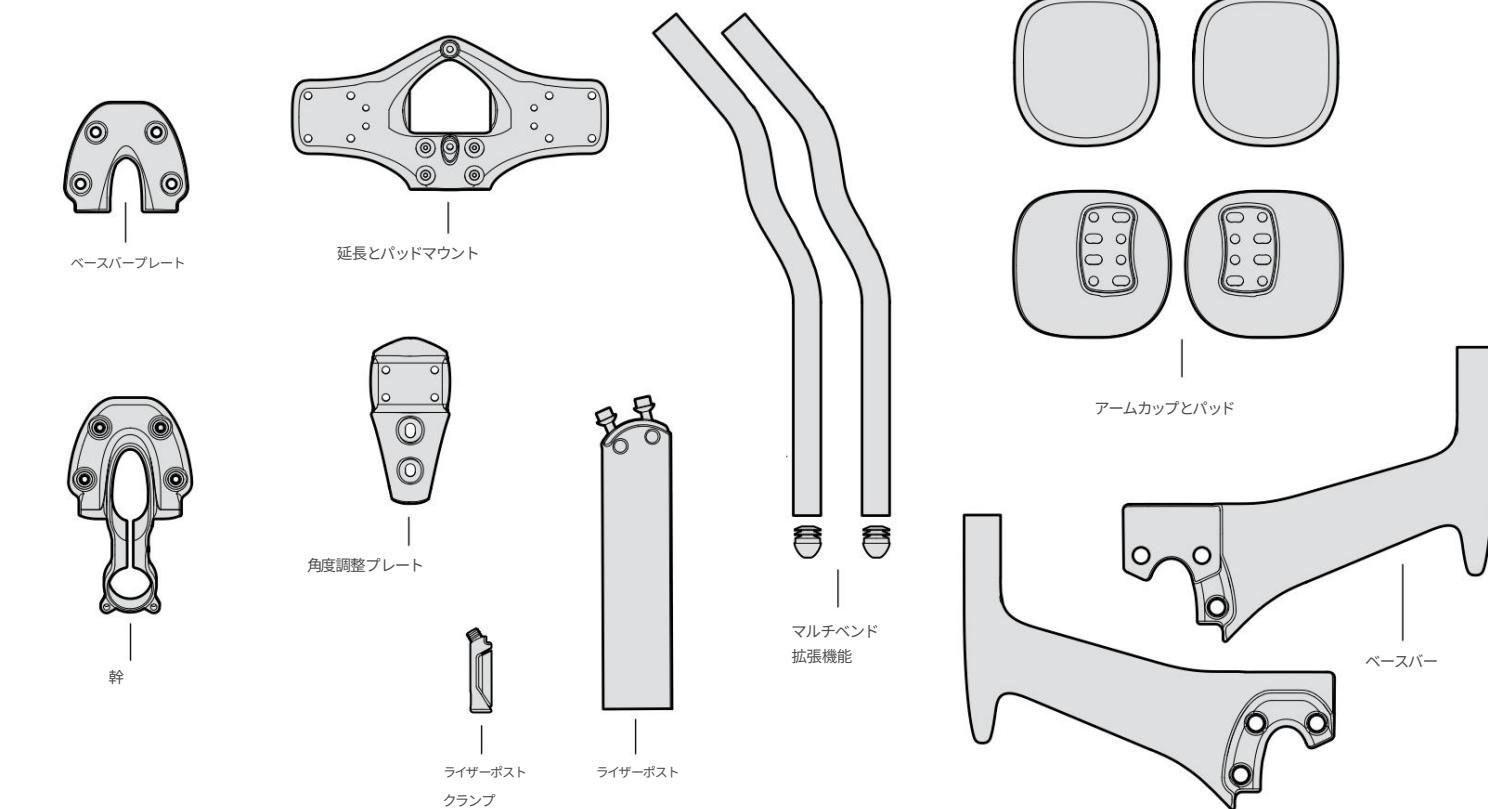
P5Xフレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御システムに対応するよう設計されており、変速方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下のパーツが必要です。



## フレーム収納ケース

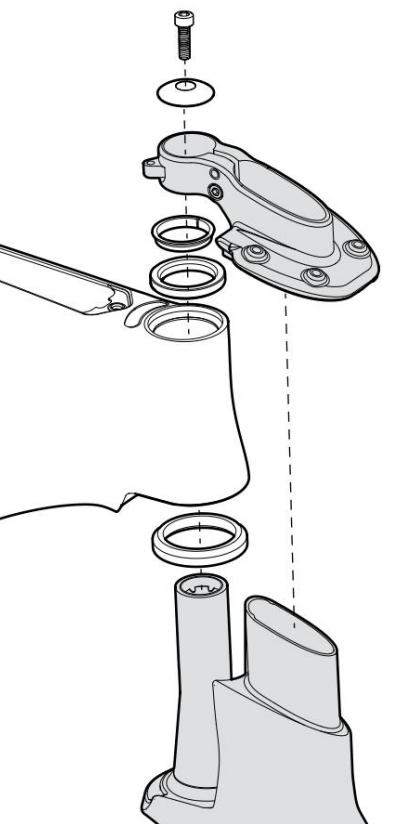


## エアロバーコンポーネントの概要



# P5Xアセンブリ

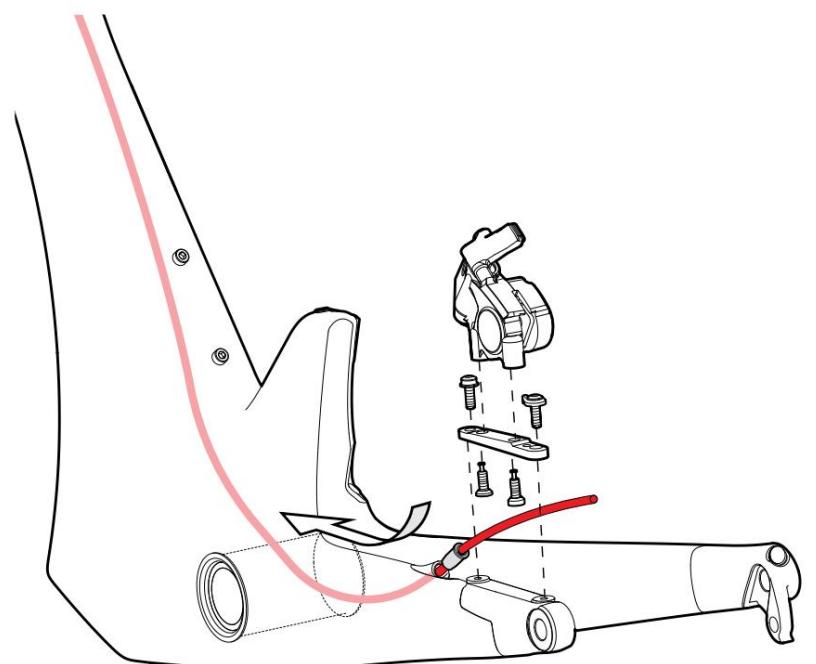
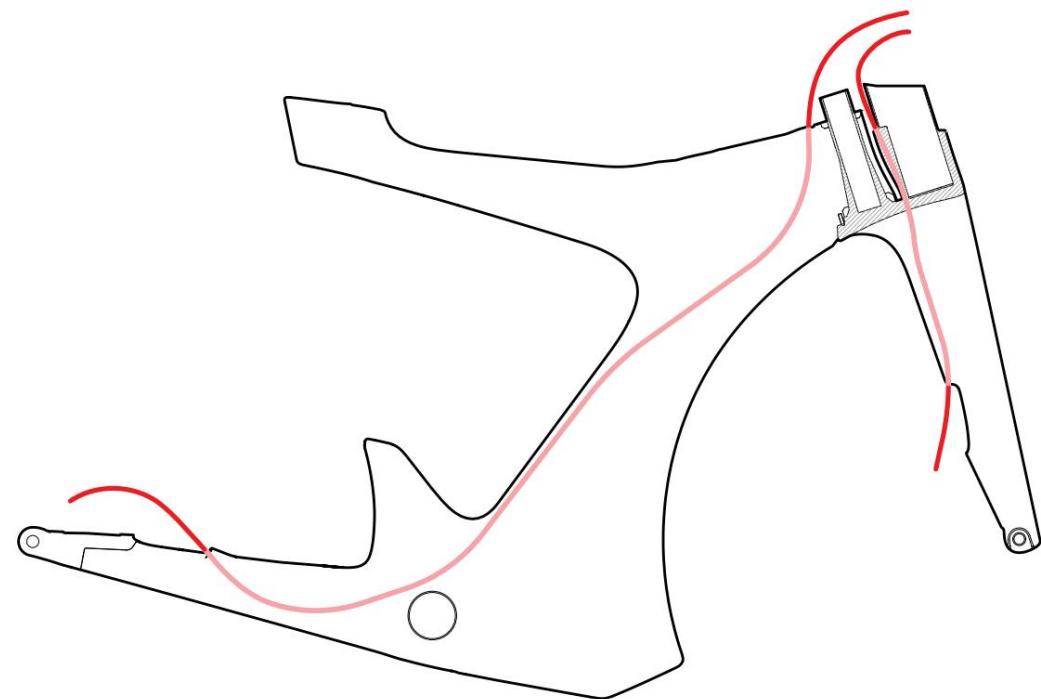
## フォークの取り付け



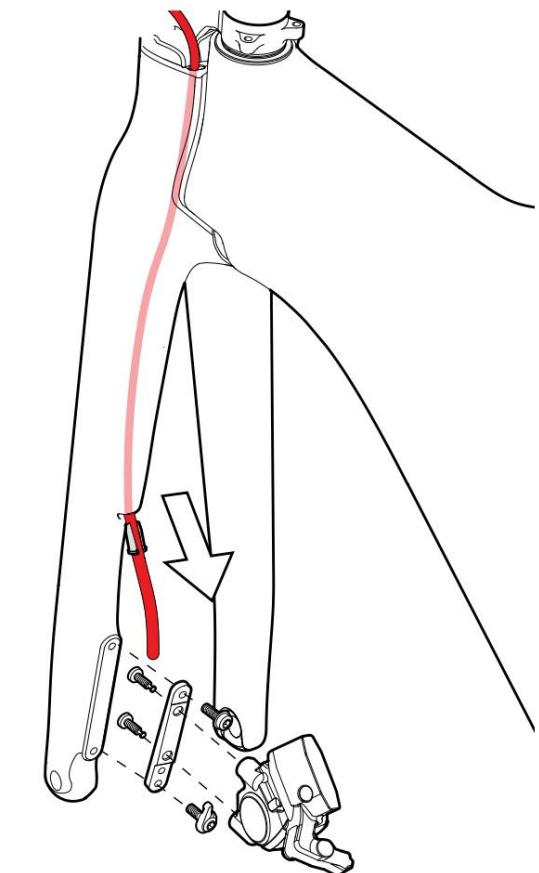
1. ステムとヘッドセットの部品を点検し、ステアチューブを切断したり損傷したりする可能性のある鋭利なエッジや粗いエッジが表面にないことを確認してください。粗いエッジが見つかった場合は、作業を進める前に部品を修理（鋭利なエッジの除去）または交換してください。
  2. 上部と下部のヘッドセットペアリングをフレームに押し込み、フォークをヘッドチューブに挿入します。
  3. コンプレッションリングをステアラーに差し込み、ヘッドセット上部ペアリングの上部に完全に収まるまで押し下げます。コンプレッションリングの切れ込みは、ステアラーの左右どちらかに向ける必要があります。前後には絶対に向けないでください。
  4. ステムを図のようにフォークステアラーに差し込みます。ステムはフォークステアラーとステアラーの両方に噛み合う必要があります。および外部ステアラー。フォークステアラーにはグリースを使用しないでください。
  5. ステムトップキャップボルトとステムクランプボルトのネジに軽くグリースを塗ります。
  6. ステムキャップをステムの上に置き、グリースを塗ったボルトをキャップを通してスターナットに噛み合わせます。ヘッドセットの遊びを完全になくし、フォークが自由に回転することを確認するまでボルトを締めます。
  7. トルクレンチを使用して、グリースを塗ったステムボルトをステアラーに締め付けます。ボルトは均等に締め付け、交互に最大5Nmまで締め付けます。<sup>\*</sup>
  8. 最終チェックとして、フォークがヘッドチューブ内で遊びや引っ掛かりがなく、自由に回転することを確認します。問題が検出された場合は、ボルトを緩めて手順 6) ~ 7) を再度実行します。
- ▲ \*ステムの最大トルク仕様を超えないでください。自転車の留め具（ナット、ボルト、ネジなど）の適切な締め付け力は非常に重要です。締め付け力が弱すぎると、留め具が「しつかり」と固定されない可能性があります。締め付け力が強すぎると、留め具のねじ山が潰れたり、伸びたり、変形したり、破損したりする可能性があります。いずれにしても、締め付け力が不適切だと部品が破損し、制御不能になって転倒する可能性があります。推奨トルク値に関する文献の記載内容に相違や矛盾がある場合は、このマニュアルに記載されている推奨値よりも、必ず部品に記載されている推奨トルク仕様、または部品メーカーの推奨トルク仕様を使用してください。

## ブレーキハウジングの取り付け

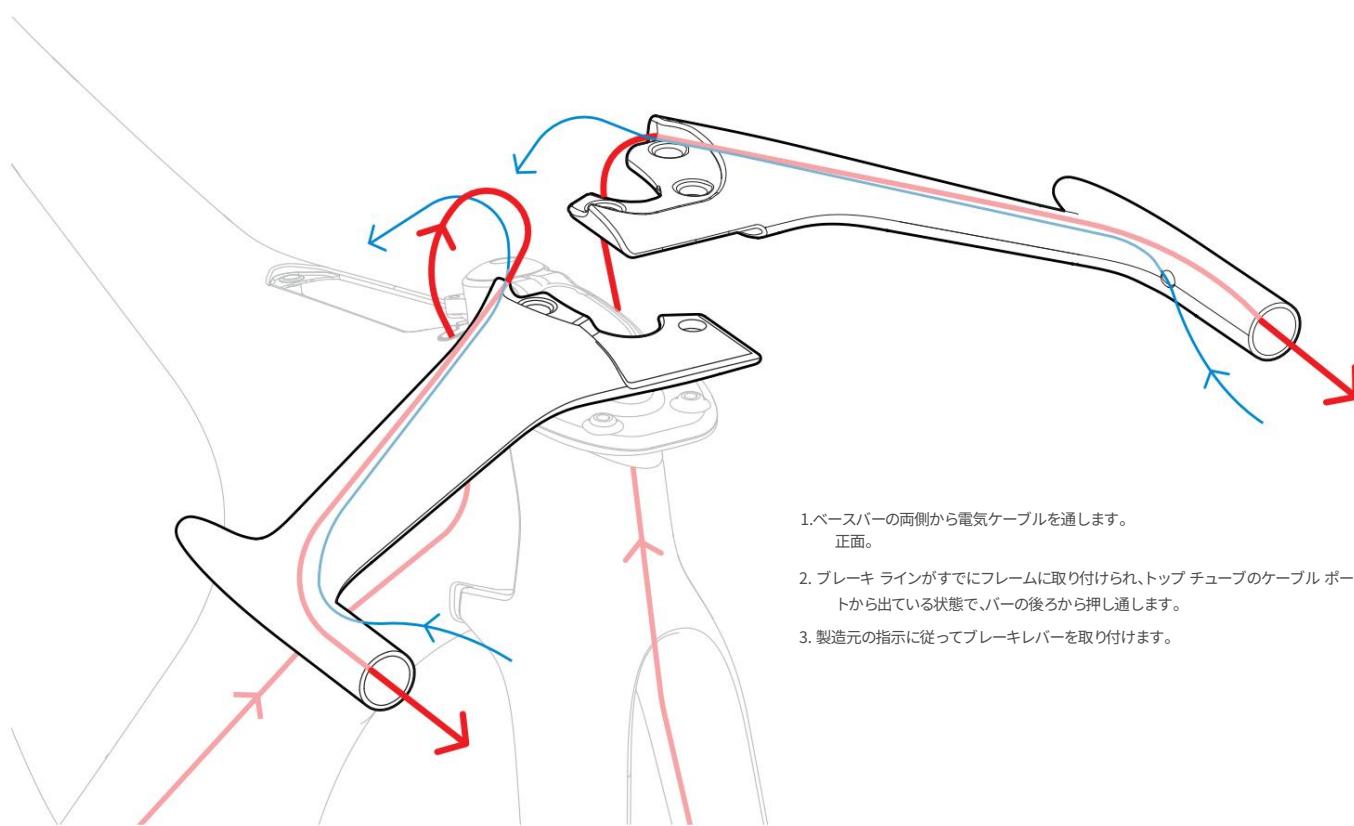
油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキと機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



1. 油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。
2. 製造元の指示に従ってキャリバーを取り付けます。
3. ブレーキ ホース ブッシングを取り付けて、ホースとハウジングを所定の位置に固定します。

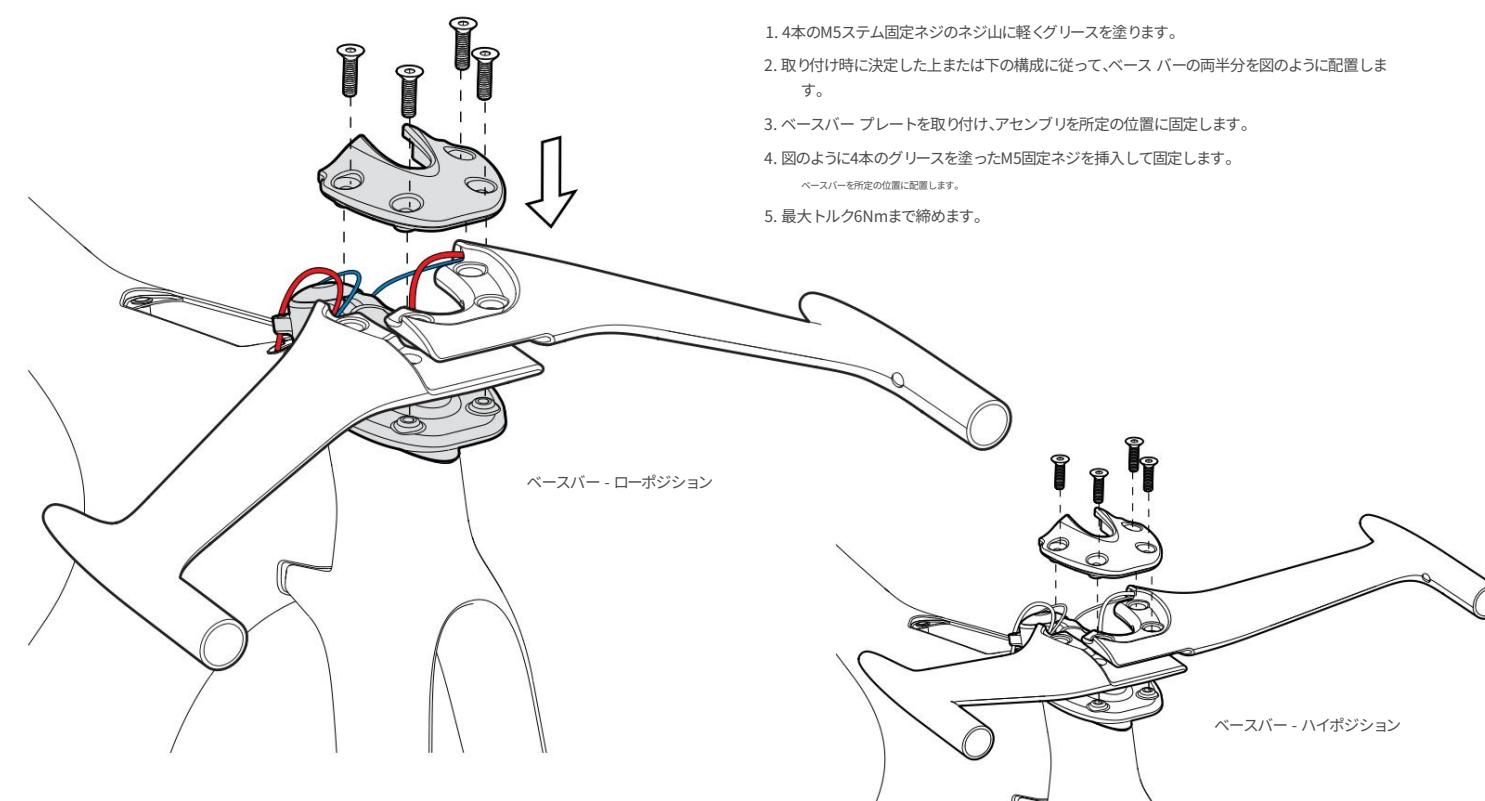


## ベースバー配線



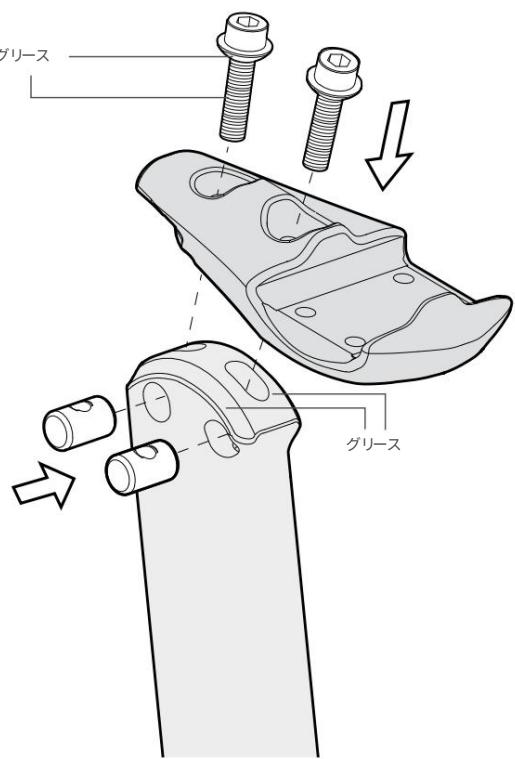
1. ベースバーの両側から電気ケーブルを通します。  
正面。
2. ブレーキ ラインがすでにフレームに取り付けられ、トップ チューブのケーブル ポートから出ている状態で、バーの後ろから押し通します。
3. 製造元の指示に従ってブレーキレバーを取り付けます。

## ベースバーの取り付け



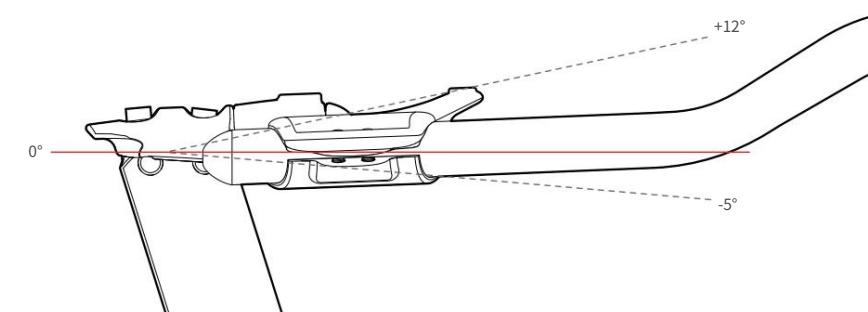
1. 4本のM5システム固定ネジのネジ山に軽くグリースを塗ります。
2. 取り付け時に決定した上または下の構成に従って、ベースバーの両半分を図のように配置します。
3. ベースバー プレートを取り付け、アセンブリを所定の位置に固定します。
4. 図のように4本のグリースを塗ったM5固定ネジを挿入して固定します。  
ベースバーを所定の位置に配置します。
5. 最大トルク6Nmまで締めます。

## ライザーアセンブリ

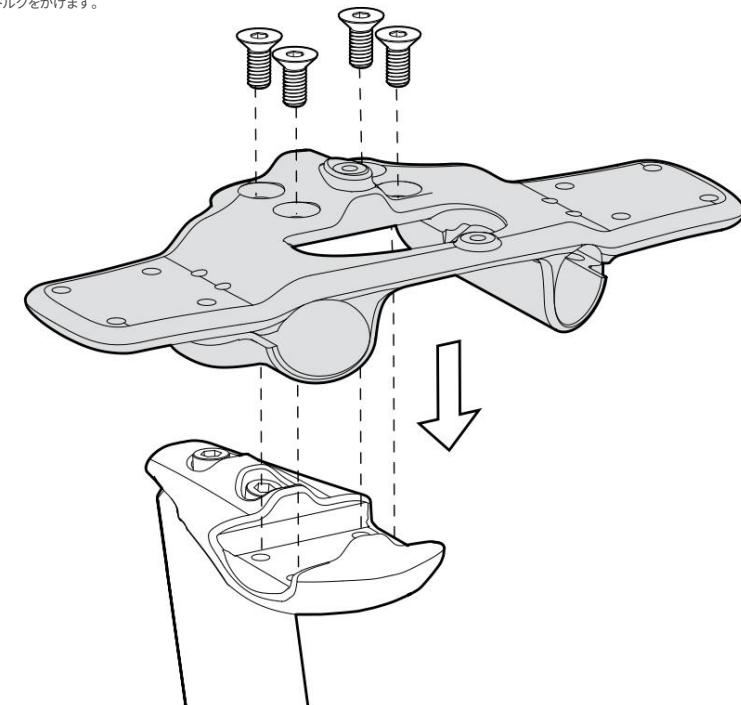


- ねじ山と球面座金の面に軽くグリースを塗ります。  
角度調整プレート固定ボルト2本。
  - システムライザーの傾斜面を軽くグリースで塗ります。  
ポストと角度調整プレート。
  - システムライザーポストのコンポーネントを左の図のように組み立てます。
  - 6 Nmまで締めます。

ライザー アセンブリには +12/-5 度の傾斜調整機能があります。

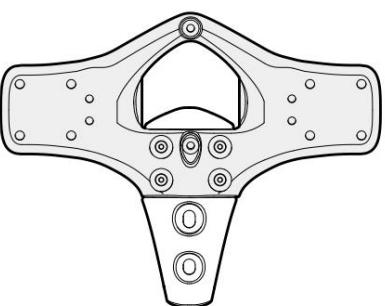


## 延長とパッドマウント

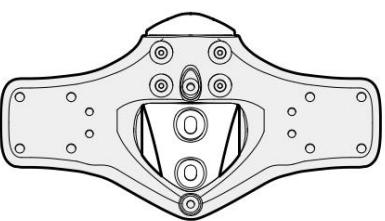


1. 軽くグリースを塗った 4 本の M5 固定ネジを使用して、パッドと延長マウントを角度調整プレートに取り付けます。
  2. 6 Nm にトルクをかけます。

パッドと拡張マウントは、次の 2 つの位置に取り付け  
することができます。



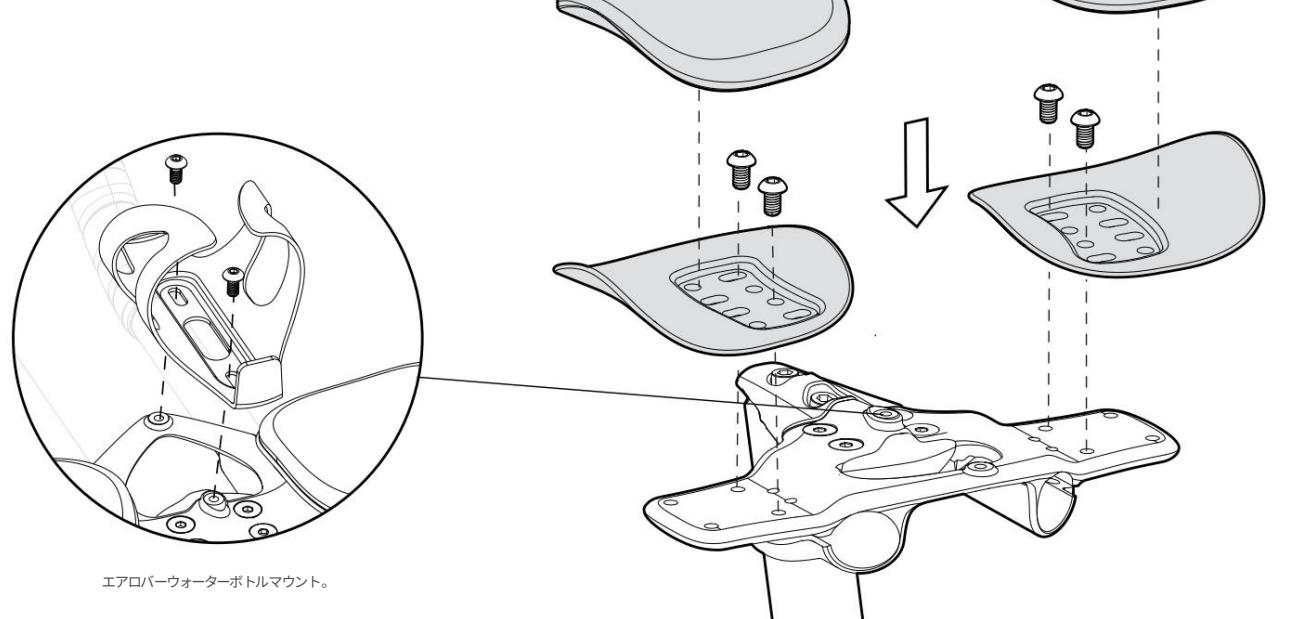
## フォワードポジション



## ヤットバックポジション

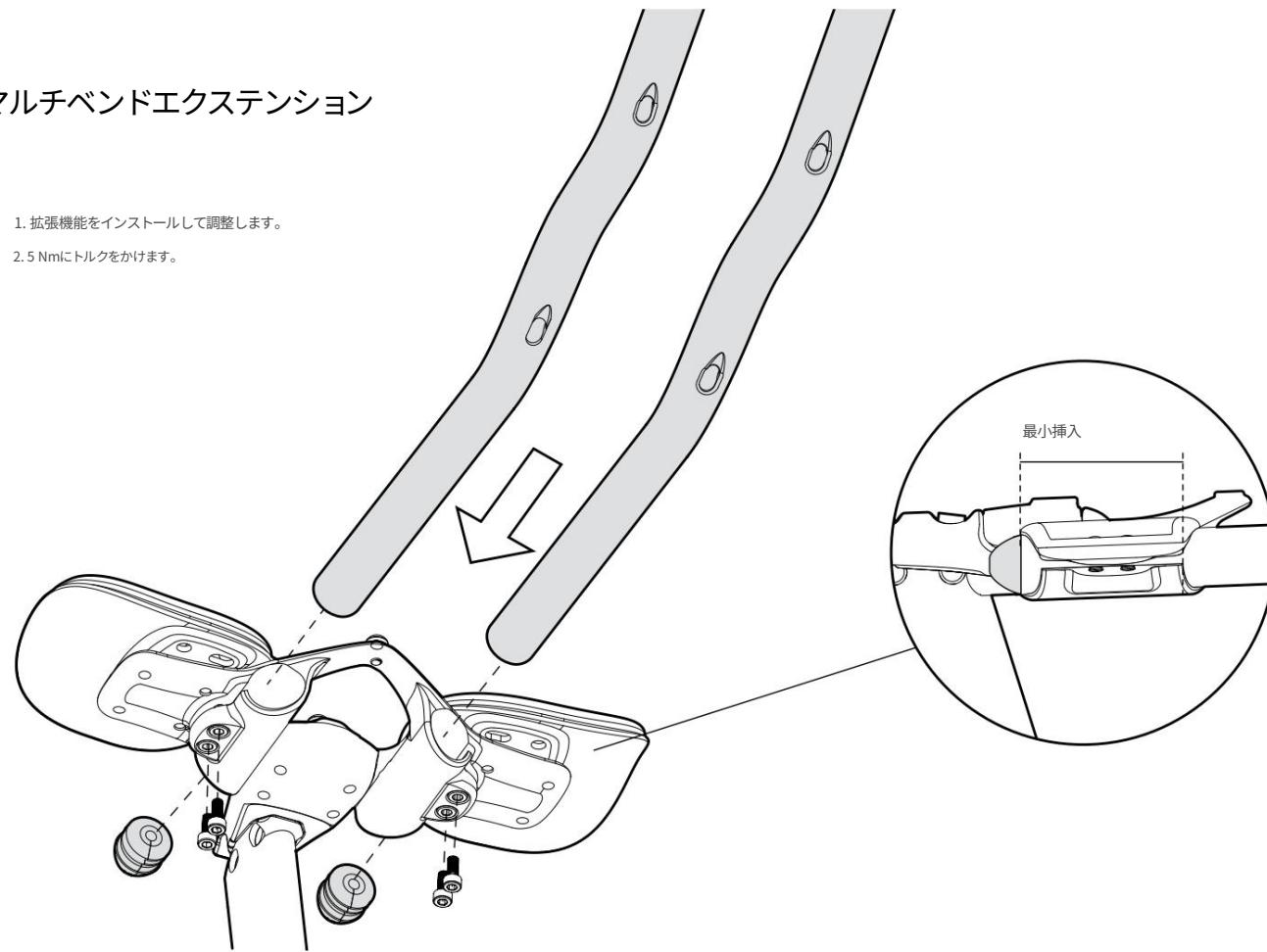
## アームカップとパッドの取り付け

1. 軽くグリースを塗った 2 本の M5 固定ネジを使用して、アーム カップをエクステンションとパッド マウントに取り付けます。
2. 6 Nmにトルクをかけます。

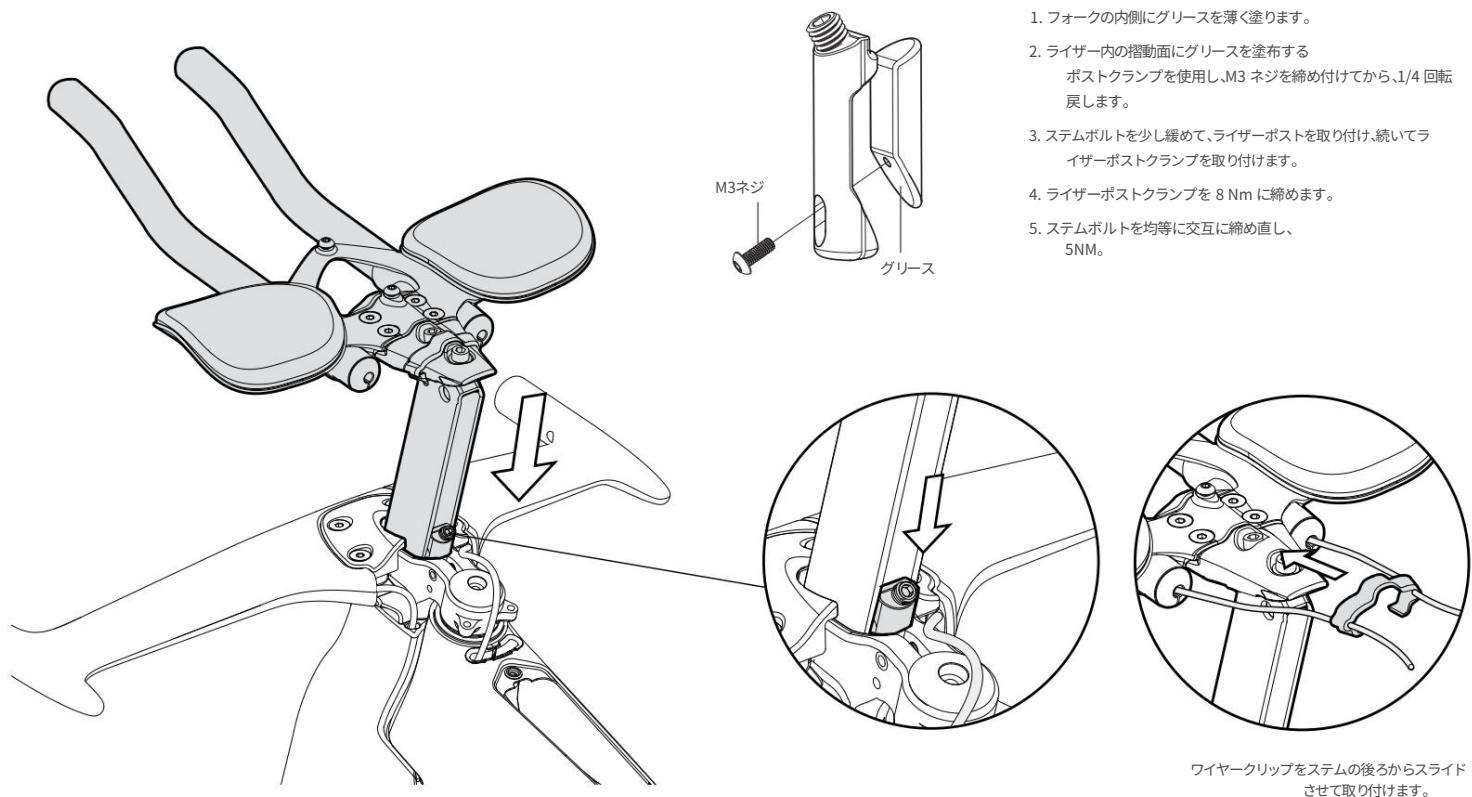


## マルチベンドエクステンション

1. 拡張機能をインストールして調整します。
2. 5 Nmにトルクをかけます。

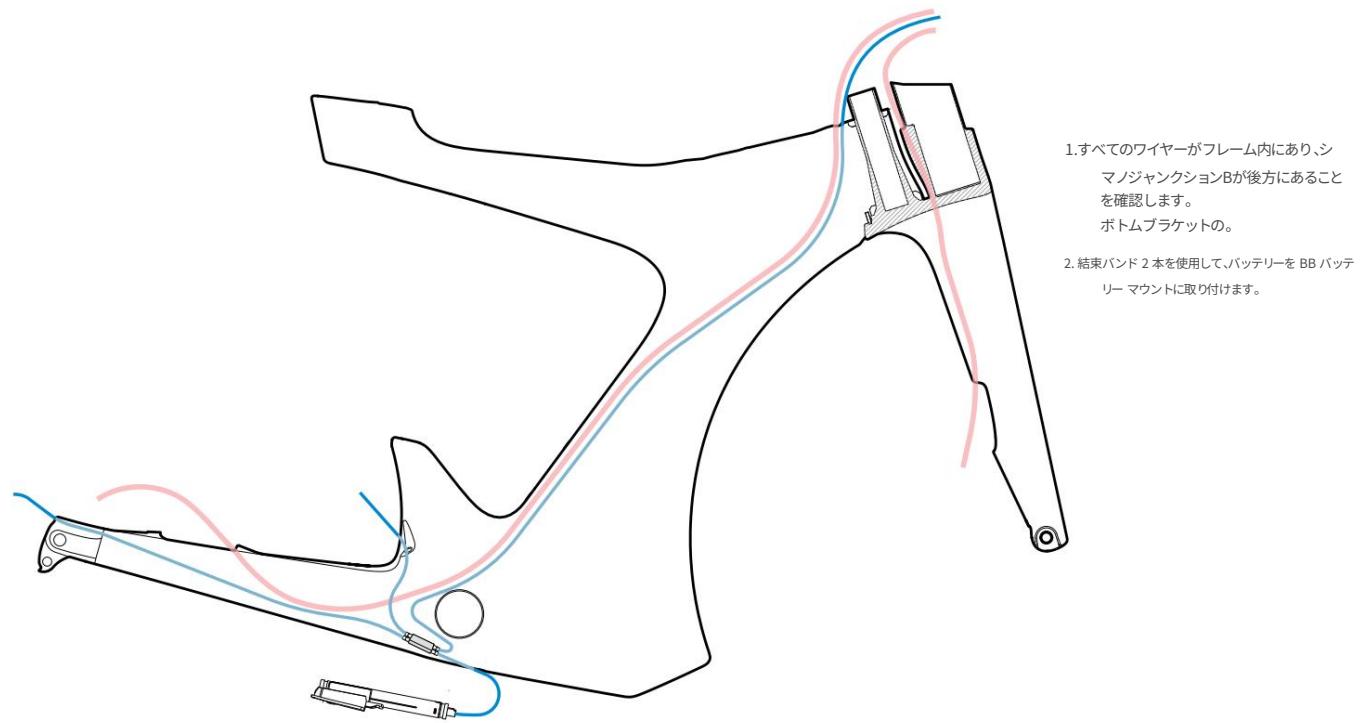


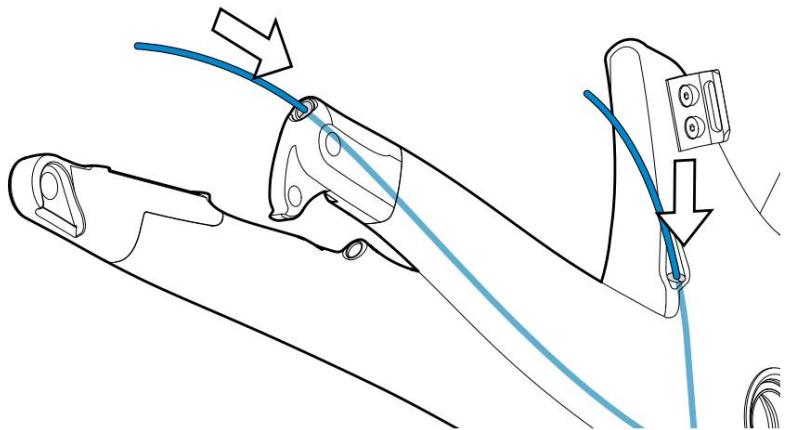
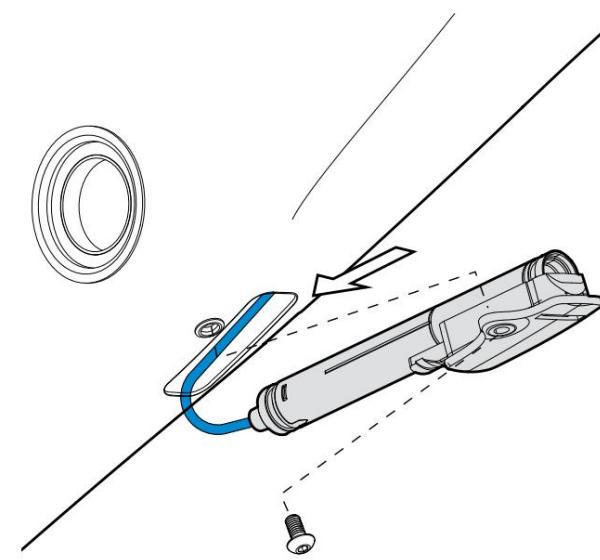
## エアロバー・センブリの取り付け



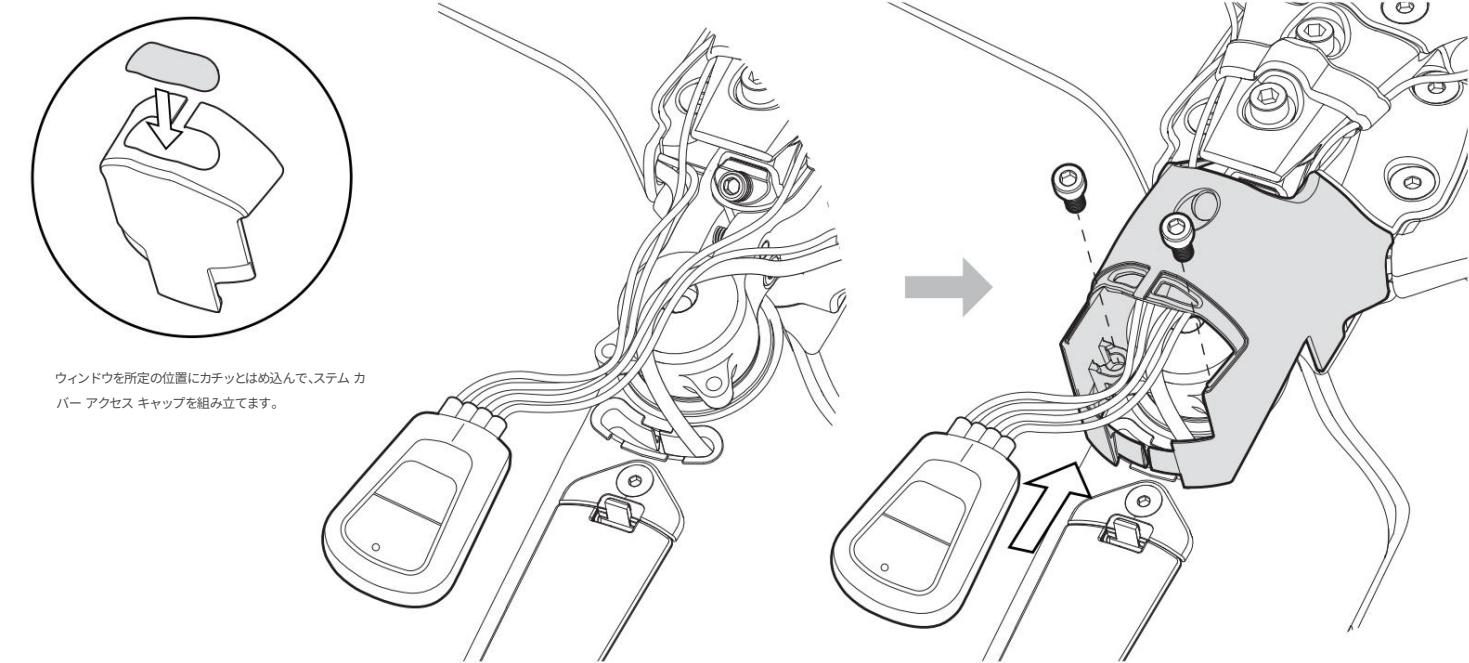
## 電気ケーブル配線

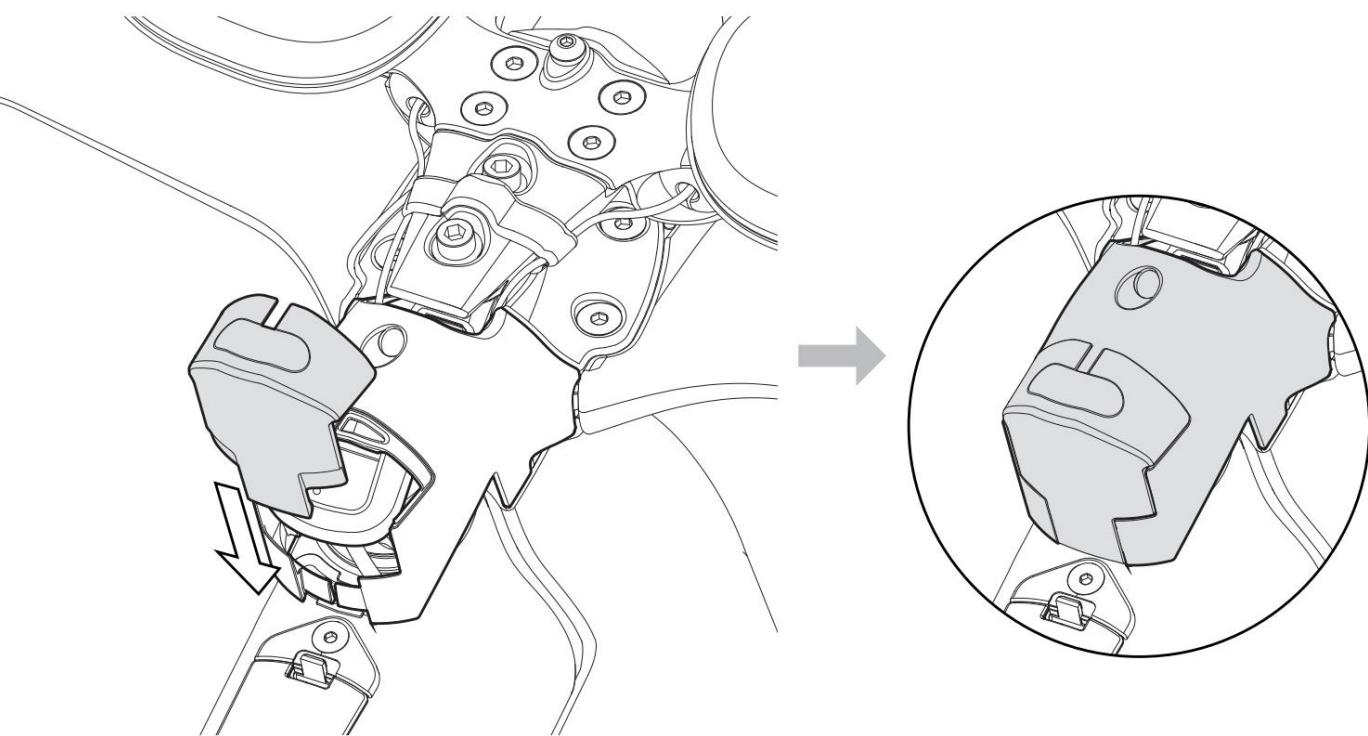
ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターやウェブサイトをご覧ください。





## ステムカバーの取り付け

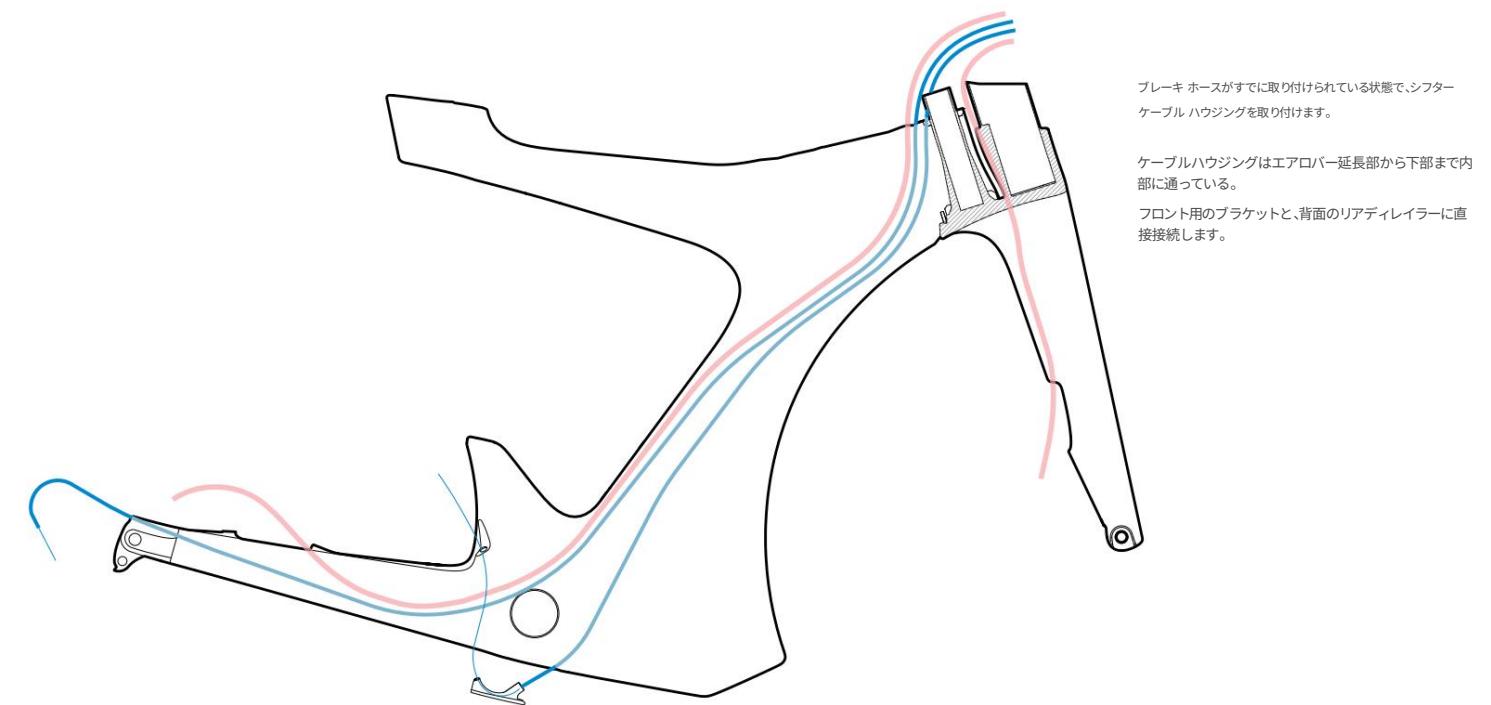




余った電気ケーブルとDi2ジャンクションAまたはSRAM BlipBoxをステムカバー内に取り付け、LEDをレンズの位置に配置します。エンドキャップを下までスライドさせてカチッとはめ込みます。

## 機械ケーブル配線

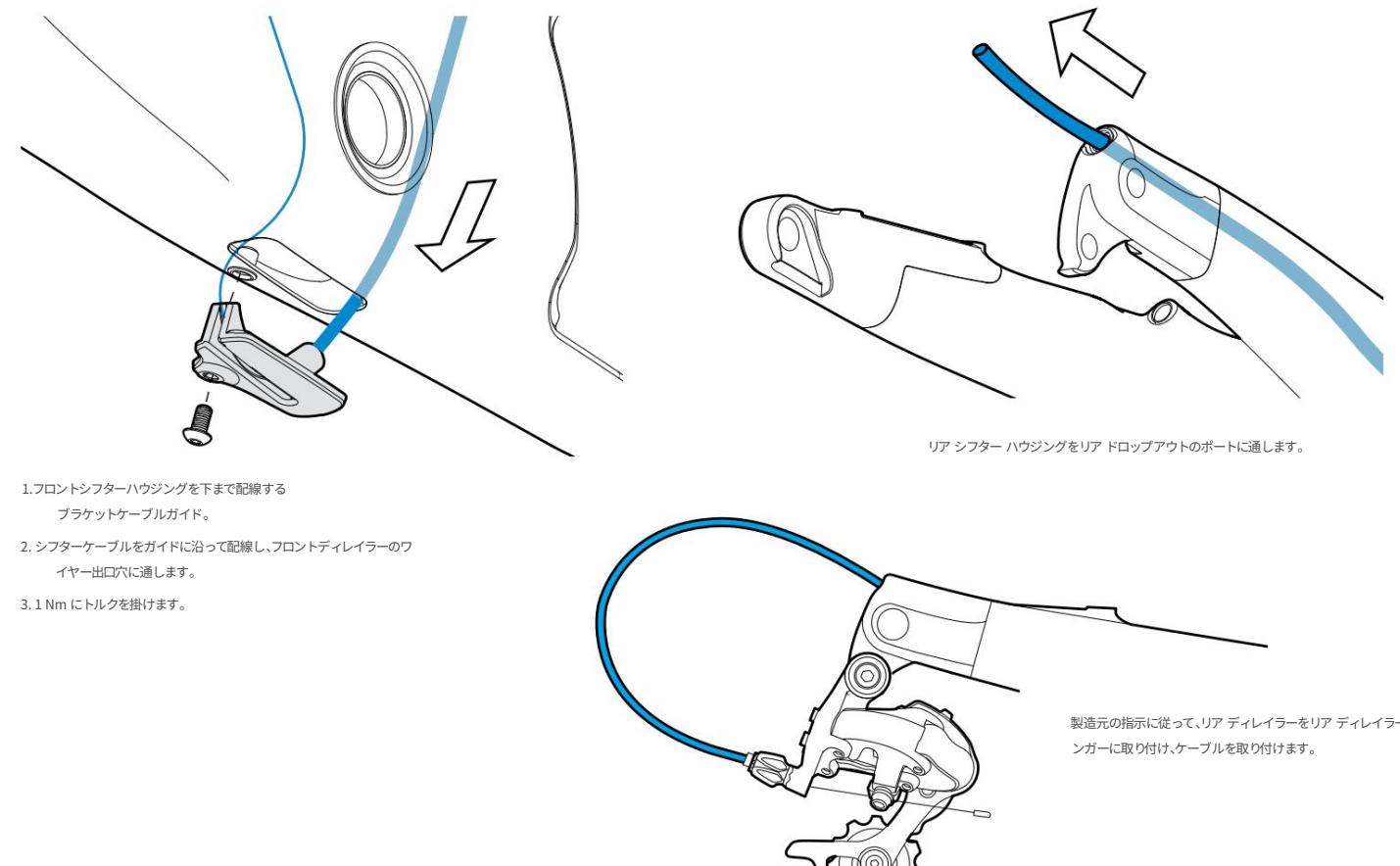
ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



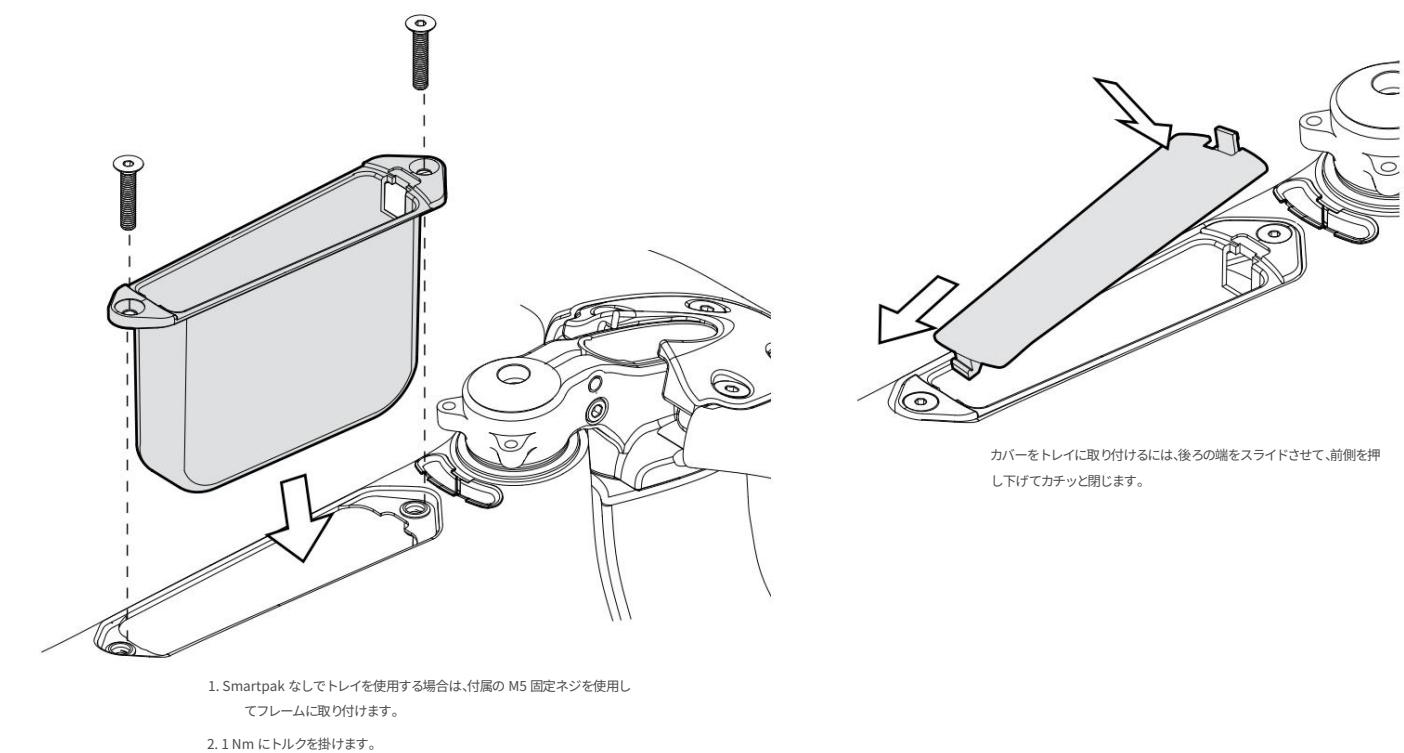
ブレーキホースがすでに取り付けられている状態で、シフター ケーブルハウジングを取り付けます。

ケーブルハウジングはエアロバー延長部から下部まで内部に通っています。

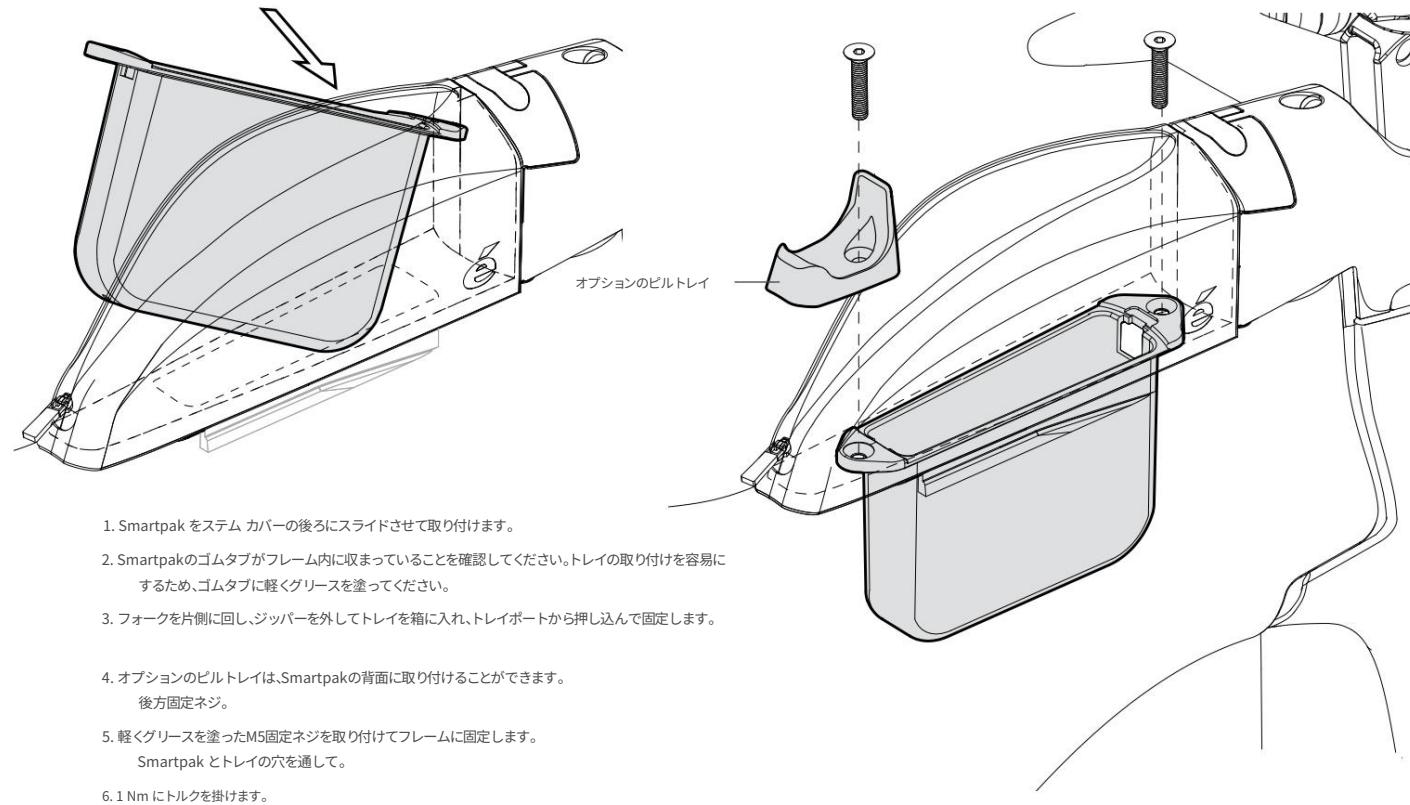
フロント用のブラケットと、背面のリアディレイラーに直接接続します。



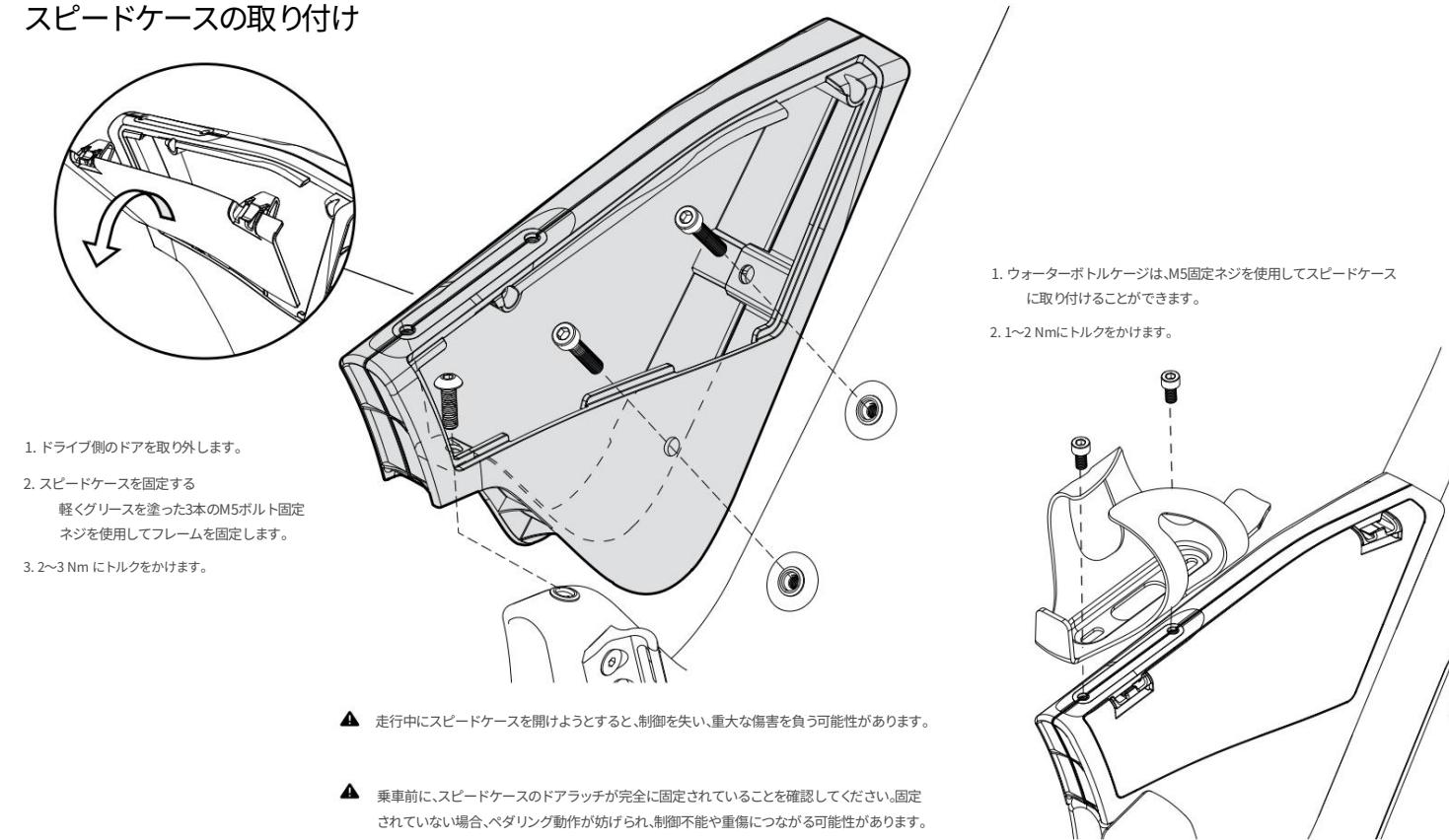
## SMARTPAKのインストール: SMARTPAKなしでトレイを使用する



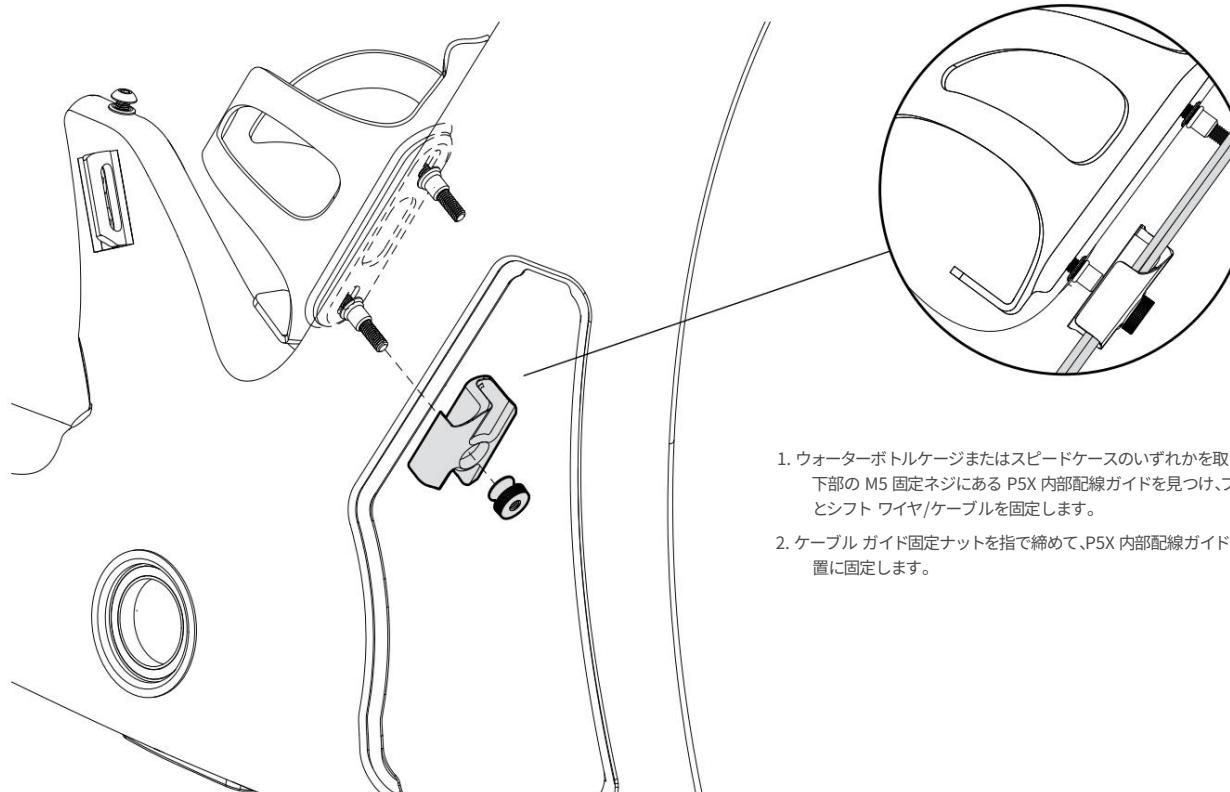
## SMARTPAKのインストール: SMARTPAKでトレイを使用する



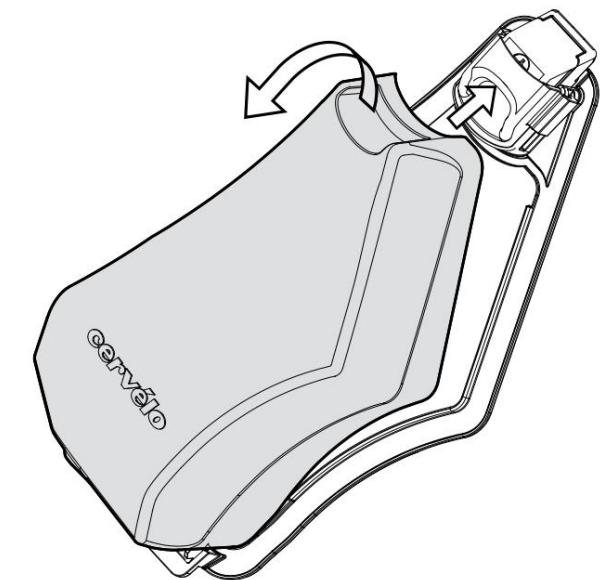
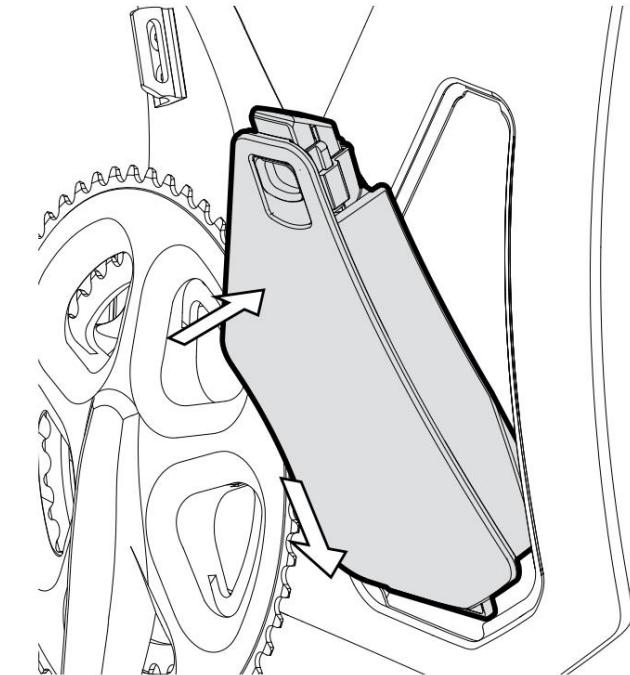
## スピードケースの取り付け



## 内部ルーティングガイドのインストール



## ステルスボックスの取り付け



Stealthbox を開くには、ボックスの背面にあるラッチを押し上げて、ボックスの上端から引き戻します。

▲ 走行中に Stealthbox を開こうとすると、制御を失い、重大な傷害を負う可能性があります。

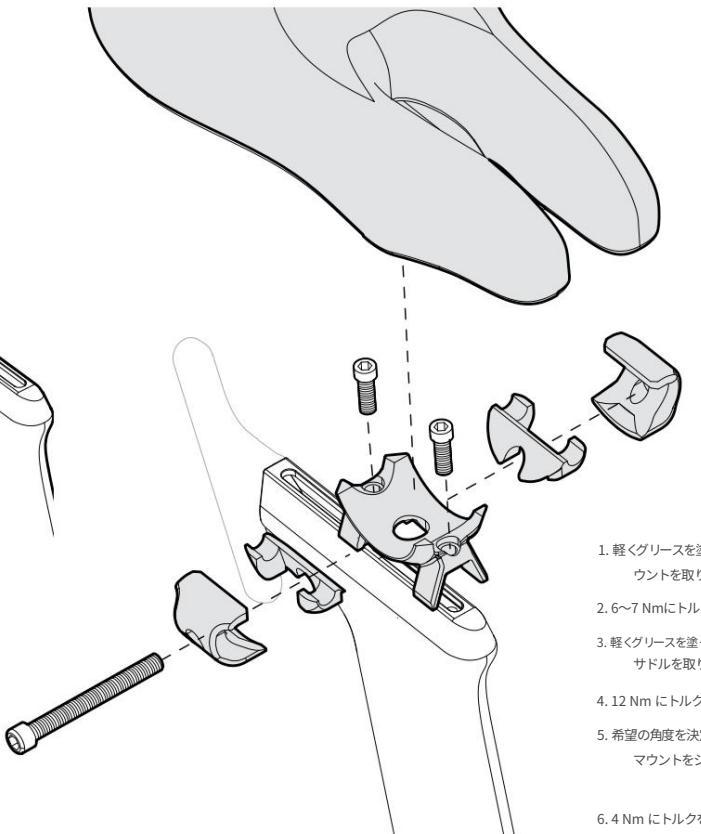
▲ 乗車前に、Stealthbox のドアラッチが完全に固定されていることを確認してください。固定されていない場合、ペダリング動作が妨げられ、制御不能や重傷につながる可能性があります。

## シートポストアセンブリ

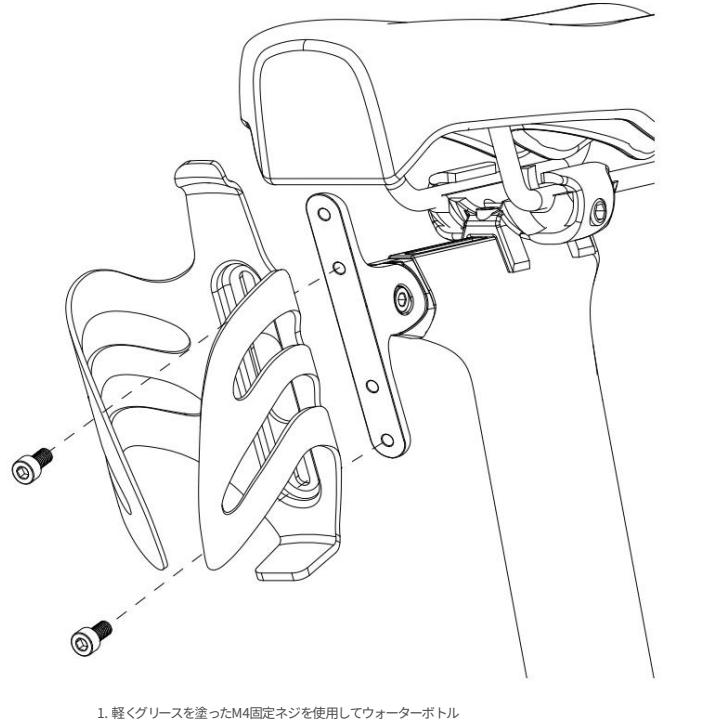
スプライン部にグリースを塗布し、ネジで組み立てます。

軽くグリースを塗ったシートポストボトルケージスラグをシートポストに差し込みます。

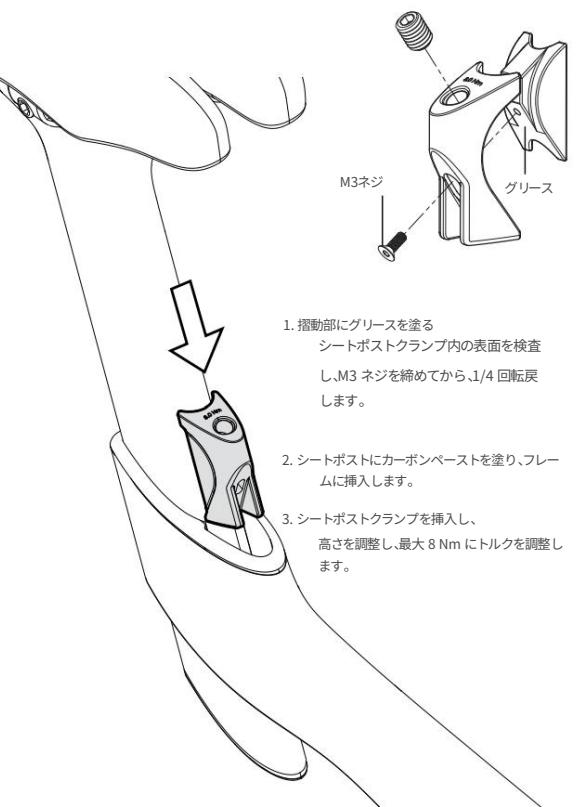
ボトルケージアタッチメントを使用しない場合は、代替シートポストスラグを使用してください。



1. 軽くグリースを塗ったM5固定ボルトを使用してサドルマウントを取り付けます。
2. 6~7 Nmにトルクをかけます。
3. 軽くグリースを塗ったレールバインダーボルトを取り付けます。サドルを取り付けます。
4. 12 Nmにトルクをかけます。
5. 希望の角度を決定し、M5固定ネジを使用してウォーターボトルマウントをシートポストスラグに取り付けます。
6. 4 Nmにトルクを締めます。



1. 軽くグリースを塗ったM4固定ネジを使用してウォーターボトルケージを取り付けます。
2. 2~3 Nmにトルクをかけます。

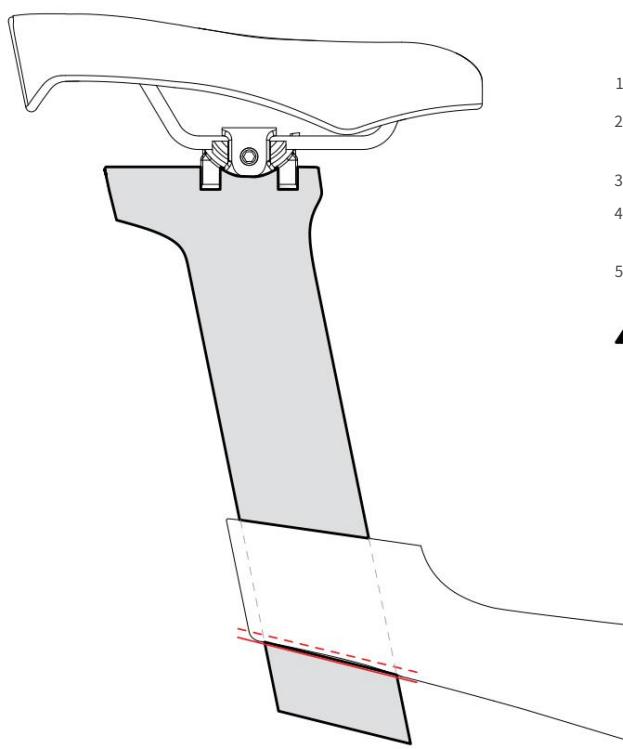


1. 握動部にグリースを塗る  
シートポストクランプ内の表面を検査し、M3ネジを締めてから、1/4回転戻します。

2. シートポストにカーボンペーストを塗り、フレームに挿入します。

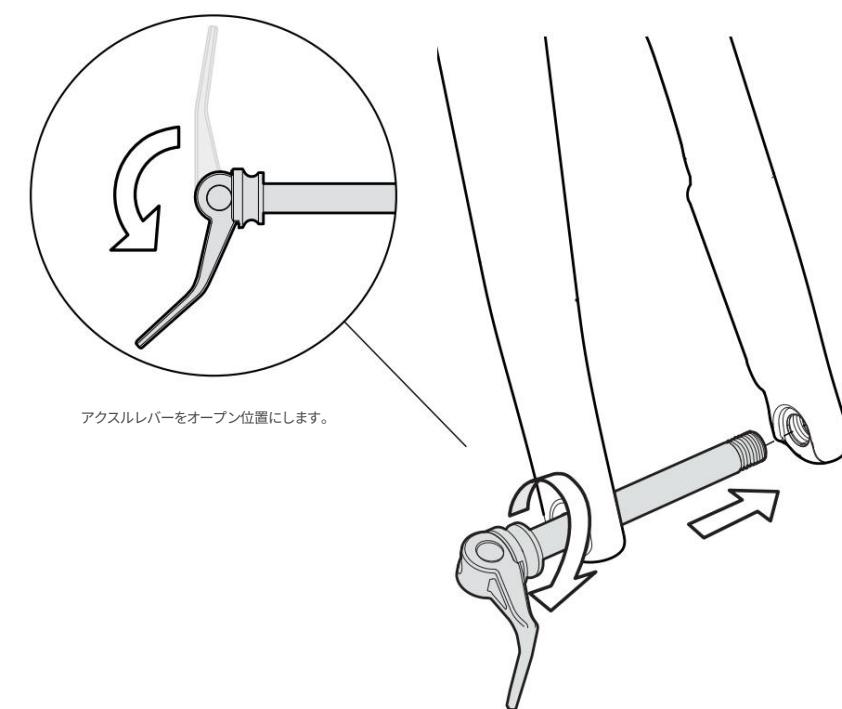
3. シートポストクランプを挿入し、高さを調整し、最大8Nmにトルクを調整します。

## シートポストの切断



- 最終的なサドルの高さを確認し、テストします。
- シートチューブの下端をなぞってシートポストの切断線をマークします。  
シートポスト。
- シートポストを取り外します。
- カーボン専用刃の鋸を使用して、シートポストの余分な部分を5mm以内に切り取ります。  
マークされた線の上。
- 切断面を研磨してきれいにし、再度取り付けます。

## スルーアクスルホイールの取り付け



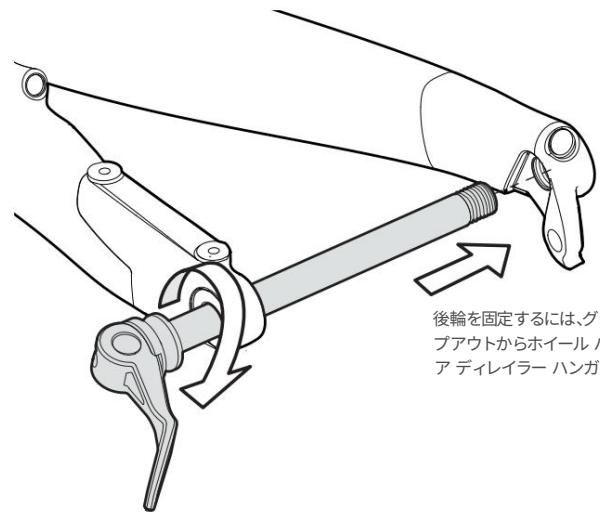
前輪を固定するには、グリースを塗った車軸を、ドライブ側のドロップアウトからホイールハブに通して取り付け、回転させて車軸を反対側のフォークのドロップアウトにねじ込み、しっかりと締め付けます。

▲ アフターマーケットのホイールセットを使用する場合は、コンポーネント製造元のサービスセンターまたはWebサイトで詳細を参照してください。

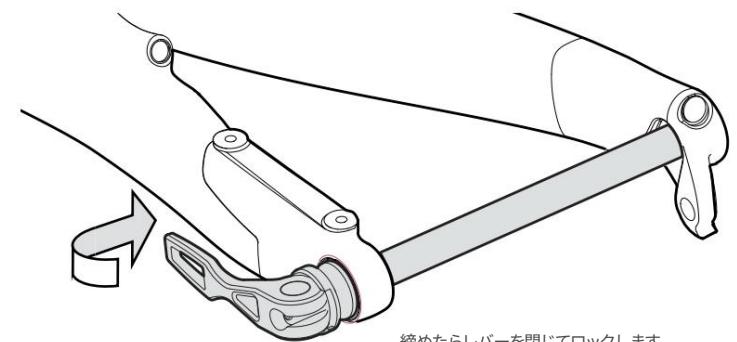
▲ 製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

▲ メーカーの指示に従ってシフトを調整します。





後輪を固定するには、グリースを塗った車軸を非駆動側ドロップアウトからホイールハブに通して取り付け、回転させて車軸をリアディレイラーハンガーにしっかりとねじ込みます。



## 付録: P5Xフォーク所有者向け説明書

### 1. 重要な顧客情報

警告: カーボン製自転車フォークは、その寿命を通じて摩耗やストレスを受けます。フォークの耐用年数を超えると、突然、壊滅的な故障を引き起こす可能性があり、ライダーに重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。傷、ひび割れ、ほつれ、変色は、ストレスによる疲労の兆候であり、フォークの耐用年数が終り、交換が必要であることを示しています。フォークの材質と製造工程は保証の対象となりますが、保証期間全体にわたってフォークが持続することを保証するものではありません。製品寿命は、多くの場合、ライディングスタイルや自転車とフォークの扱い方に左右されます。

フォークの保証は、フォークが壊れない、または永久に使用できることを意味するものではありません。保証条件に従ってフォークが保証されることを意味するだけです。保証の詳細については、[www.cervelo.com](http://www.cervelo.com) をご覧ください。製品寿命に関する情報については、販売店にお問い合わせください。

### 2. 使用目的

- Cervélo フォークは、ロードライディング、レース、タイムトライアル向けに設計・製造されています。舗装路などの滑らかな路面での走行を想定して設計されています。乗車中は、道路の穴、下水溝の格子、線路、伸縮継ぎ目、道路や歩道の工事、破片、その他の障害物を避けるように注意してください。これらが前輪に引っ掛かり、フォークに重大な衝撃を与える可能性があります。
- サーヴェロ フォークは、荒れた路面や緩いオフロード路面での使用、ストント、ジャンプ、その他のアグレッシブなライディングには適していません。これらの意図しない動作は、フォークに大きな予測不可能なストレスがかかり、フォークとライダーの両方に重大な損傷を与えるリスクがあります。

警告: フォークの頻繁な点検は安全のために重要です。毎回乗る前にフォークと自転車の点検を行ってください。自転車の定期的な、より詳細な点検も重要です。このより詳細な点検の頻度は、お客様の責任において決定されます。販売店はお客様の使用状況を追跡できないため、定期的に自転車を販売店に持ち込み、点検と整備を受ける責任はお客様にあります。販売店は、お客様の自転車の使用方法や使用場所に適した点検と整備の頻度を決定するお手伝いをいたします。

注意: 損傷した部品の識別方法の詳細については、「ケアとメンテナンス」も参照してください。

安全と理解のため、これらの説明書をすべてお読みください。これらの警告を無視すると、フォークの故障につながり、重傷または死亡につながる可能性があります。Cervélo は、このマニュアルの指示に従わなかった場合、一切の責任を負いません。

### 3. 組み立て

警告: フォークの取り付けが不適切だと、重大な傷害や死亡につながる故障が発生する可能性があります。

1. ステムとヘッドセットのコンポーネントをチェックして、ステアラーチューブを切断したり損傷したりする可能性のある鋭利な部分や粗い部分が表面にないことを確認します。

(内側または外側)、粗いエッジが見つかった場合は、作業を進める前にコンポーネントを修理 (鋭利なエッジを除去) または交換してください。

2. 上部と下部のヘッドセットペアリングをフレームに押し込み、フォークのインナーステアラーをヘッドチューブに挿入します。

3. 圧縮リングをインナーステアラーに差し込み、ヘッドセット上部ペアリングの上部に完全に収まるまで押し下げます。圧縮リングの割れ目は、

ステアラーの左側または右側に向けます。決して前方または後方に向けないでください。

4. ステムをフォークステアラー (内外) に差し込みます。フォークステアラーにはグリースを使用しないでください。Tacz Carbon Assembly Compound™ または同等のグリースを使用してください。

ステムの固定には摩擦ペーストの使用をお勧めします。摩擦力が高まるため、締め付けトルクを低く抑えることができます。

5. ステムトップキャップボルトとステムクランプボルトのネジに軽くグリースを塗ります。

6. ステムキャップをステムの上に置き、グリースを塗ったボルトをキャップに通してスターナットに噛み合わせます。ボルトは遊びがなくなるまで締め付けます。

ヘッドセットから取り外し、フォークが自由に回転することを確認します。

警告: フォークの損傷を防ぐため、ステムのステアラー クランプ ボルトを完全に緩めずにステムの位置合わせをしないでください。

7. トルクレンチを使用して、グリースを塗布したステムボルトをステアラーに締め付けます。ボルトは最大5 Nmで締め付けます。

警告: ステムの最大トルク仕様を超えないでください。自転車の固定具 (ナット、ボルト、ネジ) の締め付け力を正しく保つことは非常に重要です。締め付け力が弱すぎると、固定具がしっかりと固定されない可能性があります。

締め付け力が強すぎると、ネジ山が潰れたり、伸びたり、変形したり、破損したりする可能性があります。

いずれにしても、締め付け力が不適切だと部品の故障につながり、制御不能や転倒につながる可能性があります。推奨トルク値に関する文献間で相違や矛盾がある場合は、本マニュアルに記載されている推奨トルク値よりも、部品に記載されている推奨トルク値、または部品メーカーが推奨するトルク値を必ず使用してください。

8. 最終チェックとして、フォークがヘッドチューブ内で遊びや引っ掛かりがなく、スムーズに回転することを確認します。問題が見つかった場合は、ボルトを緩めて手順6を実行してください。

再びアリになります。

9. ブレーキの取り付けについては、ブレーキ製造元の指示に従うとともに、この P5X 取扱説明書も参照してください。

### 4. お手入れとメンテナンス

すべてのライダーは複合材の基本的な現実を理解する必要があります。

・炭素繊維で作られた複合材料は強度と軽量性に優れていますが、衝突や過負荷がかかると、炭素繊維は曲がらずに破断します。・破断箇所およびその近傍には、粗く鋭いエッジが見られ、炭素繊維または炭素繊維織物の層が剥離する可能性があります。曲げ、座屈、伸張は発生しません。

・使用中にフォークに繰り返し負荷がかかると、時間の経過とともに疲労損傷が発生する可能性があります。ライディング中の安全を確保するためには、フォークの適切な点検が不可欠です。

乗車前:

・フロントブレーキを握り、自転車を前後に揺らします。すべてがしっかりと固定されているように感じますか? 自転車を前後に動かすたびにノック音や衝撃を感じたら、バイクのヘッドセットが緩んでいる可能性があります。上記の組み立て手順に従ってヘッドセットを再調整するか、販売店に点検を依頼してください。

・前輪を地面から浮かせて左右に振ってみてください。スムーズに感じますか? もしステアリングに引っ掛けたりガタツキを感じたら、ステアリングが固くなっている可能性があります。ヘッドセット。上記の手順に従ってヘッドセットを再調整するか、販売店に点検を依頼してください。

・フォークに深い傷、ひび割れ、変色がないか確認してください。これらはストレスによる疲労の兆候であり、フォークの耐用年数が終わりに近づいていることを示しています。交換される。

・フォーク内の前輪の位置を確認し、部品が擦れ合っていないことを確認してください。必要に応じて前輪の位置を調整してください。

各乗車中:

・ハンドル、ステム、ホイール付近で、新しい音 (キーキー音、ガタガタ音)、または感触 (ソフトな感触、振動、柔軟性) の変化や変化があった場合は、直ちに停止して点検してください。フォーク、または前輪が損傷している可能性があります。原因が特定され、適切に解決されるまで自転車に乗らないでください。

衝突または重大な衝撃の後:

・まず、怪我がないか確認し、できる限りの手当をしてください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

・次に、フォークに損傷がないかその場で確認します。フォークに問題が見つかった場合は、乗らないでください。フォークを販売店に持ち込み、専門家による点検を受けてください。

警告: 衝突やその他の衝撃は、自転車のフォークに過度の負荷をかけ、破損や早期疲労を引き起こす可能性があります。応力疲労を起こした部品は突然、壊滅的な故障を引き起こし、制御不能、重傷、または死亡につながる可能性があります。

警告: フォークに大きな衝撃が加わった場合は、フォーク全体に損傷がないか検査する必要があります。フレームからフォークを完全に取り外して、すべての表面を確認してください。

## 5. 複合フレーム、フォーク、およびコンポーネントの検査

### ひび割れ

- ひび割れ、破損、または割れた部分がないか点検してください。ひび割れは深刻な問題です。ひび割れのある自転車や部品には、大小を問わず乗らないでください。

### 剥離 :

- 層間剥離は深刻な損傷です。複合材は複数の層からなる繊維でできています。層間剥離とは、繊維の層が互いに接着しなくなることを意味します。  
剥離が見られる自転車や部品には乗らないでください。剥離の兆候としては以下のものがあります。
  - 曇った、または白い部分。このような部分は、通常の損傷のない部分とは見た目が異なります。損傷のない部分はガラスのように光沢があり、剥離した部分は不透明で曇って見える。
  - 膨らみや変形。剥離が発生すると、表面形状が変化する可能性があります。表面に凹凸、膨らみ、軟らかい部分が生じたり、滑らかで整っていない場合があります。
  - 表面を叩いたときの音の違い。損傷のない複合材の表面を軽く叩くと、通常は硬く鋭い一定の音が聞こえます。  
音。その後、剥離した部分を叩くと、通常より鈍く、鋭くない異なる音が聞こえます。

### 異常音:

- ひび割れや剥離があると、走行中にきしみ音が発生することがあります。このような音は深刻な警告信号と考えてください。適切にメンテナンスされた自転車は非常に静かで、きしみ音やキーキー音もありません。異音の原因を調べて特定してください。ひび割れや剥離ではないかもしれません、異音の原因が何であれ、乗る前に修理する必要があります。

### ずれ:

- ホイールがドロップアウトに正しく取り付けられているか確認し、フォークのアライメントがずれていないか確認してください。カーボンフォークのアライメントのずれは、フォークを曲げたり伸ばしたりしても修正できません。ドロップアウト内での調整でホイールが適切にセンターに配置されない場合は、販売店でフォークを点検し、必要に応じて交換してもらうまで、乗車しないでください。

**警告 :**剥離やひび割れのあるフォーク（または自転車のあらゆる部品）には乗らないでください。剥離やひび割れのあるフォークに乗ると、フォークが完全に破損し、重傷や死亡につながる可能性があります。疑わしい部品は売却せず、必ず破棄してください。

# P5X マニュアル